

## 使用済燃料再処理機構 第69回運営委員会 議事概要

- 1 開催日時 2024年2月19日(月) 13:30~15:30
- 2 開催場所 使用済燃料再処理機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介(委員長)、山口彰(委員長代理)、  
小澤俊朗、織朱實、梶川融、佐久間総一郎、塩越隆雄  
出席理事 佐藤敏秀(理事長)、河合雅彦、板垣雄士、出光一哉、伊原一郎  
同席者 山上圭子(監事)
- 4 議事の経過および結果

### (1) 運営委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は12名であった。このうち、塩越委員はWeb会議システムにより出席した。定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているので、本運営委員会が成立したことを確認した。

### (2) 議案審議および自由討議

#### 【決議事項】

##### 第1号議案 組織及び職制変更の件

○事務局から、組織及び職制の変更内容について説明を受けた。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

##### 第2号議案 定款の変更の件

○事務局から、定款の変更内容について説明を受けた。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

#### 【報告事項】

##### a. 主な業務の執行状況について

理事長から、主な業務の執行状況について報告を受けた。

委員から、日本原燃の再処理施設のしゅん工に向けた審査対応等における、申請対象設備の類型化への対応状況について質問があった。事務局より、再処理は7グループ、再処理関連加工は5グループに分けて説明をしていくなかで、再処理関連加工を先に進めてきている。再処理については、昨年12月に最初のグループの説明を開始したところであり、今後の審査の中で議論していく予定と日本原燃から聞いている、と回答した。

<添付資料>

[「主な業務の執行状況」](#)

##### b. 使用済燃料再処理等実施中期計画の方向性について

事務局から、使用済燃料再処理等実施中期計画(案)の検討状況に関する報告を受け、自由討議を行った。

委員から、一般論として再処理で回収される Pu の量の変動について質問があり、事務局より、再処理する燃料のタイプや時期により多少変動する可能性がある」と回答した。

c. 再処理事業等の事業費精査について

事務局から、日本原燃からの事業費提案等に関する「[事業費精査に係る基本方針](#)」を踏まえた精査状況について報告を受け、自由討議を行った。

委員から、今回説明を受けた精査内容はおおむね適正であるとのコメントがあった。

また委員から、日本原燃が安全対策工事を実施する際に、安全上の重要度を評価しているのかとの質問があり、事務局より、プロジェクトマネージャーが工事そのもののリスクや工程を踏まえたリスク等を評価しながら進めていると日本原燃から聞いていると回答した。

引き続き事務局において同方針および討議内容を踏まえて精査作業を進めることとした。

d. その他

事務局から、2024 事業年度事業計画（案）、2024 事業年度予算（案）、2024 年度余裕金運用計画（案）について、検討状況に関する報告を受け、自由討議を行った。

委員から、当機構の事業運営に必要な拠出金を確保するためには、発電所の再稼働を円滑に進めることが重要であり、その確実な実現には、メーカーが横断的に持っている技術やノウハウを活用していく取り組みが重要との意見があった。

また委員から、余裕金運用計画について、今後の資金動向を的確に把握し、合理性のある計画策定に留意するよう要請があった。

委員長は、議事概要に記名する者として、委員長の他、山口委員長代理および佐藤理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要およびその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理機構

運営委員会

委員長 近藤 駿介 印

委員長代理 山口 彰 印

理事長 佐藤 敏秀 印

以上